

感染症ベーシックスクール in 中国・四国の開催報告

感染症ベーシックスクール in 中国・四国 担当

愛媛大学 田内久道、安川正貴

広島大学 大毛宏喜

2018年9月22日（土）から2日間にわたり「感染症ベーシックスクール in 中国・四国」を愛媛大学医学部と「たかのご温泉」「たかのごのホテル」で開催しました。当日運営は愛媛大学6名と広島大学4名、鳥取大学より2名のスタッフで担当し、参加者は16名で、小児科専門医1名、研修医10名、学生が5名でした。

セミナーは講演とワークショップで構成され、初日のワークショップでは3～4名のグループが5つのブースを順番でまわり、各症例について、診断、鑑別診断と今後の方針についてレポートを作成する形式で行いました。ブースの症例は、HIV/AIDS、肝膿瘍、突発性発疹、デング熱、術後感染症の基本的な病態を選択し、できるだけ正解に導く方針で計画しました。

講演は「細菌検査の落とし穴」「中国四国地域で注目すべき感染症－SFTSを中心に－」「外科領域感染症での抗菌薬選択」の3題を行い、また2日目にはワークショップの症例解説を行いました。ワークショップのレポートはそれぞれ担当者が採点し、最も成績の良かったチームには優秀賞を贈呈し会を終了しました。

参加者16名のうち14名からアンケートを回収したところ、ベーシックスクールの参加に関してはすべて高評価でした。参加のきっかけは、13名が指導医や教官からの紹介であり、5名は日本感染症学会への入会を希望していました。

ベーシックスクールの開催は幅広い年齢や診療科に携わる感染症診療に興味を持ってもらうことのできる有効な手段であると考えられ、来年以降も継続が望まれます。



感染症ベーシックスクール in 中国・四国プログラム

会期：2018年9月22日（土）～9月23日（日）

会場 1日目 愛媛大学医学部

〒791-0295 愛媛県東温市志津川

TEL：089-964-5111(代表)

2日目 たかのこのホテル・たかのこの湯

〒790-0925 愛媛県松山市鷹子町 737 番地 2

TEL：089-960-1588

愛媛県は道後温泉が有名ですが、観光地のためゆっくりと楽しむことができません。たかのこの湯は100年の歴史と、2012年に新建設されたきれいな施設とで多くの地元の人に愛されているおすすめの温泉です。

プログラム

9月22日（土）

総合進行 田内久道（愛媛大学医学部感染制御部）

北野弘之（広島大学感染症科）

14時

開会式 オリエンテーション

安川正貴（愛媛大学プロテオサイエンスセンター）

大毛宏喜（広島大学感染症科）

14時20分～

講演1 細菌検査の落とし穴

宮本仁志（愛媛大学医学部附属病院診療支援部）

15時～

模擬患者を用いたグループ別ワークショップ

1症例30分で基本的な5症例を経験していただきます。

症例担当

末盛浩一郎/AIDS（愛媛大学血液・免疫・感染症内科学）

村上雄一/肝膿瘍（喜多医師会病院／愛媛大学血液・免疫・感染症内科学）

越智史博/突発性発疹（愛媛大学医学部小児科学）

梶原俊毅/デング熱（広島大学感染症科）

北川浩樹/術後感染症（広島大学感染症科）

17時30分

移動（たかのこの湯・たかのこのホテル）

入浴

19時30分～

懇親会・宿泊

9月23日（日）

総合進行 田内久道（愛媛大学医学部感染制御部）
北野弘之（広島大学感染症科）

9 時～ 講演 2 中国四国地域で注目すべき感染症－SFTS を中心に－
安川正貴（愛媛大学プロテオサイエンスセンター）

10 時～ 講演 3 外科領域感染症での抗菌薬選択
大毛宏喜（広島大学感染症科）

11 時～ ワークショップ症例解説
末盛浩一郎（愛媛大学血液・免疫・感染症内科学）
村上雄一（喜多医師会病院／愛媛大学血液・免疫・感染症内科学）
越智史博（愛媛大学医学部小児科学）
梶原俊毅（広島大学感染症科）
北川浩樹（広島大学感染症科）

12 時～ 表彰式・閉会式